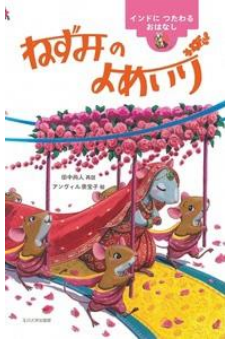


わくわく

7・8月号

本だな

1 2 3 年



えほん

E 『ねずみのよめいり インドにつたわるおはなし』
田中尚人／再話 アンヴィル奈宝子／絵 玉川大学出版部
せんになが、ねずみをにんげんのむすめのすがたにかえて、たいせつにそだてました。むすめがおよめに行くとしになり、せんには、このよでいちばんりっぱなあいてをさがすことにします。ふたりは、たいようにけっこんをもうしこみにいきました。

K913 『けんだましょうぶ』

ものがたり

にしひらあかね／作 福音館書店
けいくんが「けんだまするひといないかな?」といってあるいていると、のはらできつねにあいました。けいくんが、けんだまをやってみせると、きつねも「かぱ!」とたまをおおざらにのせました。しかも、たまがみかんにかわっているのです。



ものがたり

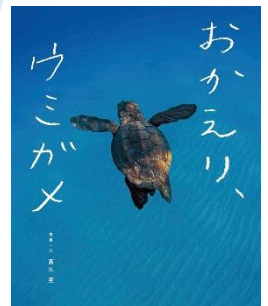
K913 『つくしちゃんとおねえちゃん』

いとうみく／作 丹地陽子／絵 福音館書店
つくしのおねえちゃんは、あたまがよくてピアノもじょうず。おこりっぽいけれど、つくしのじまんのおねえちゃんです。おまつりのひ、おねえちゃんをつくしをおいてでかけてしまいました。おこったつくしは、おねえちゃんにしかえしをします。

E 『おかえり、ウミガメ』

ちしきのほん

高久至／写真・文 アリス館
まいとし屋久島には、たくさんのウミガメがたまごをうむためにやってきます。おかあさんウミガメは、いちどに100こもたまごをうむそうです。2かげつご、たまごからあかちゃんがつぎつぎにうまれました。あかちゃんたちのだいぼうけんがはじまります。



わくわく

7・8月号

本だな

4 5 6 年



物語

K913 『サイコロの通知表』

工藤純子／作 講談社

朝陽は、通知表の成績がふつうすぎることに納得がいきません。「通知表なんて、ただの紙切れじゃん。あんなので、ぼくらの何がわかるの？」そう思った朝陽やクラスメートたちは、おかえしに先生の通知表をつけることにしました。

物語

K913 『ろくぶんの、ナナ』

林けんじろう／作 高橋由季／画 岩崎書店

ナナは、遠足のときに見つけたおみやげ屋さんで、小さなサイコロをもらいました。そのサイコロには6人の精がすんでいて、サイコロをふると、出た目の精がのりうつってしまうのです。

そんなある日、親友のポポがいなくなっていました。ナナは6人の力をかりて、ポポを探しに行きます。



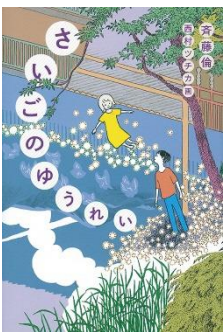
物語

K913 『さいごのゆうれい』

齊藤倫／作 西村ツチカ／画 福音館書店

お盆の初日、ハジメは、ネムという女の子のゆうれいに会いました。ゆうれいの国からやってきたネムは、ゆうれいの数がどんどん減って、自分が最後のひとりだと言います。

ハジメは、この世で<ひとさわぎ>してゆうれいの存在をアピールしたいというネムの願いを手伝うことにしました。



ちしきの本

K474 『富士山のまりも 夏休み自由研究 50年後の大発見』

亀田良成／文 齊藤俊行／絵 福音館書店

作者の亀田さんは小学生の時、自由研究のために山中湖で拾ったまりもを育てはじめました。そのまりもは元気に増え続けましたが、ふるさとの山中湖では絶めつしかけているというのです。

まりもを山中湖へ返すことを目標に、今も研究が続いています。



図書館のまどぐちには、くみだてると本になる「わくわく本だな」もあるよ。

ホームページもみてね！〈編集・発行〉富山市立図書館 富山市西町5番1号 電話 076-461-3200